

科目名	ヴォーカルⅡ							年度	2025
英語科目名	Vocal Ⅱ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必／選	必	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	久保田陽子・深水みゆき		教員の実務経験		有	実務経験の職種		歌唱	
【科目の目的】									
・声の出る仕組みを理解し、「俳優に必要な技術」の三大基礎（発声・発音・滑舌）を訓練する。 ・「継続は力」を実践し、身体で感じ学ぶ。 ・俳優として「言葉」とは何かを考え、他者に「言葉」を使って意思や気持ちを伝える「喋り」「歌」を追求する。									
【科目の概要】									
ストレッチ、筋トレ、有酸素運動等のウォーミングアップ。 プレス、発声、リズム、ピッチのトレーニングで基本的な声のビルドアップをはかり、メロディに乗せて言葉と声の表現力を磨く。 録音・録画された自分のパフォーマンスを確認して客観的に自己評価する。									
【到達目標】									
表現者として必要な声を身につけ楽しく歌唱する。課題として提示された楽曲を音程、リズム、ハーモニーを意識しつつ歌唱できる。 8小節のシンプルなソルフェージュを楽譜を見ながら歌唱できる。									
【授業の注意点】									
ソルフェージュは復習が必要とされ毎週のチェック対象となる。 声を出すことが基本なので積極的な授業参加態度を求める。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	音楽的要素を理解し 正確な音程・リズムで 歌うことができ 音楽性を備えている		音楽的要素を理解し 正確な音程・リズムで 歌うことができる		音楽的要素を理解 できていない 正確な音程・リズムで 歌うことができない				
到達目標 B	姿勢・呼吸・共鳴など 発声のメカニズムに ついて深く理解している		姿勢・呼吸・共鳴など 発声のメカニズムに ついて概ね理解している		姿勢・呼吸・共鳴など 発声のメカニズムに ついて理解できていない				
到達目標 C	歌詞を自然に美しく 正しい発音 ディクションで 歌うことができる		歌詞を自然に美しく 正しい発音 ディクションで 概ね歌うことができる		歌詞を自然に美しく 正しい発音 ディクションで 歌うことができない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
授業内で楽譜を配布。									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
成果発表	30%	期末に歌唱発表を実施							
平常点	20%	授業参加意欲							
出席率	50%	4 分の 3 以上の出席率							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ヴォーカルⅡ				年度	2025
英語表記		VocalⅡ				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	相互理解	意思疎通		ソルフェージュ12	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
2	歌詞理解と表現	歌詞理解と表現		ソルフェージュ13	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
3	歌詞理解と表現	歌詞理解と表現		ソルフェージュ14	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
4	相互理解	意思疎通		ソルフェージュ15	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
5	相互理解	意思疎通		ソルフェージュ16	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
6	和音と音程	和音と音程		ソルフェージュ17	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
7	和音と音程	和音と音程		ソルフェージュ17	音楽を自分の言葉にする		
				ミュージカルソング	しっかりと歌う		
8	発表	まとめ					
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等